

# 愛媛県対新型コロナウイルス防衛戦略 ～愛顔を守ろう！～

作戦①：感染拡大を防ぐ

作戦②：医療崩壊を防ぐ

作戦③：地域経済の崩壊を防ぐ

# 大まかな時間軸

感染拡大回避フェーズ（終息を目指す）

終息・反転攻勢フェーズ（V字回復）

感染拡大を防ぐ  
作戦①

当面はこれを  
最大限に展開

感染状況に応じ緩和等も検討

医療崩壊を防ぐ  
作戦②

持ちこたえている間に医療体制を増強

地域経済の崩壊を防ぐ  
作戦③

当面の危機をしのぐ取り組み

終息を見据えた  
反転攻勢

# 作戦①：感染拡大を防ぐ

## ○ 感染者の早期発見、早期対応

- コールセンターの設置
- 医療機関からの依頼に基づくPCR検査の迅速な実施
- 個々の感染事例ごとの「囲い込み」と「封じ込め」

## ○ 水際対策の徹底

- 首都圏等からの転入者の自宅待機の呼びかけ、松山空港での検温等
- GW期間も含めた遊興施設等への休業の要請
  - 遊興施設（キャバレー、スナック、カラオケボックス、ライブハウス等）
  - 遊技施設（パチンコ店、マージャン店、ゲームセンター等）

## ○ 「感染拡大回避行動」の徹底

「うつらないよう自己防衛！」

「うつさないよう周りに配慮！」

「県外や不要不急の外出自粛！」

## ○ 学校の休業

## 作戦②：医療崩壊を防ぐ

### ○ 県新型コロナウイルス感染症調整本部の設置

- ・関係機関と協議・連絡体制を構築し、入院患者等の受入れ調整・搬送調整を実施

### ○ 感染者の状況に応じた受入れ体制を增強

- ・重症・中等症の患者 → 専用病床 100床
- ・軽症・重症化の恐れのない中等症の患者 → 重点医療機関（専用病棟）の確保
- ・無症状・軽症の患者（回復期）の療養 → 当面は宿泊施設 67室を確保済み

### ○ 医療機関や医療従事者への支援を增強

- ・協力医療機関の病床改修費や受入れ協力への支援の検討【県】
- ・感染リスクを伴う医療従事者への応援手当金の検討【県】
- ・国は診療報酬の増額を検討【国】

# 作戦③：地域経済の崩壊を防ぐ

## ○ 当面の緊急措置

### ・資金繰りの強力な支援

国 1階 日本政策金融公庫による無利子・無担保融資  
県 2階 県単融資制度創設  
(融資枠200億円)  
市町と連携した無利子化を準備中

※制度融資実行までの緊急のつなぎ融資も要請

### ・雇用維持の強力な支援

国 雇用調整助成金の大幅な拡充  
県 県独自の上乗せ補助  
更なる企業の負担軽減等の準備

## (参考) 国の実施内容、検討事項

- ・ 持続化給付金（中小等の法人200万円、個人事業主100万円）
- ・ 一人10万円の特別定額給付金（仮称）
- ・ 税、社会保険等の支払い猶予（1年間の納税猶予等）
- ・ テナントの家賃支払い猶予（法整備の検討）

# 作戦③：地域経済の崩壊を防ぐ

## ○ 今後の支援措置

- ・ 国補正予算・制度の徹底的な活用
- ・ 一人10万円の特別定額給付金（仮称）の迅速な給付に向けた市町支援
- ・ 3密回避や前向きに頑張る企業への支援策（「えひめ版協力金」）
  - 感染拡大回避に率先して取り組む飲食店、地元スーパー、商店街、宿泊施設への支援
  - 移動販売等、前向きに新たなビジネスを展開する事業者への支援
- ・ 地域経済の基盤を支える生産・物流面等の支援策の検討

## ○ コロナ終息後の反転攻勢

- ・ 県営業本部を活用し、官民一体となった強力な売り込み
- ・ WEB商談・WEBマッチングなどデジタルシフトの加速
- ・ 人を呼び込む誘客促進の大キャンペーン

## 【参考】東京方式とえひめ方式の主な違い

	東京方式	えひめ方式
考え方	休業要請と休業協力金はセットで行う	休業要請に対する休業協力金は設けず、別の企業支援（愛媛版協力金）を実施
パチンコ店等	休業要請対象 +休業協力金を支給	休業要請対象 +えひめ版協力金は対象外 （資金繰り支援と国の給付金等 で対応）
1000㎡以上の 店舗等	休業要請対象 +休業協力金を支給 （全国チェーン対象）	えひめ版協力金の対象外 →地場の事業者が補助対象 （全国チェーン対象外）
飲食店	営業時間の短縮を要請 +協力金を支給	営業時間の短縮までは要請しない →3密回避や前向きな工夫に対して支援